

緩和ケア病棟における肺悪性腫瘍終末期症例の予後の後方視的探索的研究

1. 研究の対象

2022 年 1 月～2025 年 10 月に肺悪性腫瘍終末期における緩和医療として当院緩和ケア病棟に入院療養された方

2. 研究目的・方法

研究目的：肺悪性腫瘍は、従来の化学療法のほか免疫チェックポイント阻害薬などの新薬が開発されているにも関わらず、現在においても、部位別がん死亡原因の第 1 位となっている悪性腫瘍です。近年の新薬開発における予後改善の恩恵を受けられる一方で、治療が細分化されているため癌終末期医療においても予後の影響を少なからず受ける可能性があります。しかし、現行の複雑な肺癌治療において緩和医療学的な視点での検討された研究は多くなく、日本における臨床研究はほとんど存在しません。そのため、肺悪性腫瘍における終末期医療を改めて調査することで、これまでになかった予後に関連する因子を探索することが必要であると考えています。

研究の方法：本研究は、当院緩和ケア病棟に入棟された肺悪性腫瘍の患者様の診療録を用いて実施します。すべてのデータは個人が特定できない方法で取得し、鍵付きの電子データとして厳重に保管し、本研究以外の使用は行いません。なお、この臨床試験全体の研究期間は、2027 年 3 月 31 日までを予定しております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病名、外来受診日、入退院日、癌治療履歴、転移の有無と局在、臨床病期、組織型、緩和医療的予測予後データ、入院時症状、キーパーソンや受診家族の有無

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先（研究責任者）：

姫路聖マリア病院 緩和ケア内科 医長 大村 彰勲

住所：〒670-0801 兵庫県姫路市仁豊野 650

電話：079-265-5111